



看護の日のイベントを開催します



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日

～看護の心をみんなの心に～

看護の日 イベント開催

開催日 / 平成27年5月11日(月)

時間 / AM 10:00 ~ PM 3:00

場所 / 北福島医療センター
オーチャードホール

- リハビリ (健康体操などお教えします)
- 管理栄養士の栄養教室 (個別の栄養相談にも応じます)
- お薬の相談 (薬剤師がご相談に応じます)
- 療養相談 (看護師や医療相談員が対応致します)

健康チェック

身長・体重測定 血圧・酸素飽和度測定
体脂肪測定 血管年齢測定 握力測定



参加無料です。お気軽にどうぞ、お越しください。

CONTENTS



SOYぷらん様よりケヤキ10本を寄贈いただきました

看護の日のイベント案内	1
リハビリテーション科のご紹介	2
第84回地域けんこう講座のご報告	2
新任医師のご紹介	3
お知らせ	3
栄養科より	4

リハビリテーション科をご紹介します

『あなたのその一歩を支えます』

当院1階のあゆみ病棟では、専従のリハビリテーションスタッフによる集中的なリハビリテーションが提供されています。

「回復期リハビリテーション病棟」は、生命の危機を脱した方々が集中的なリハビリテーションを実施することが出来る病棟です。ほんの10年前、この診療圏でのリハビリテーションは、提供する療法士の主観的な見立てに基づいて展開されることが往々にしてありました。しかし、脳科学の発展により、リハビリテーションの効果が可視化されるようになると、リハビリテーションには大きなブレイクスルーが起きました。主観によらない、客観的な見立てに基づいた効果が出やすい方法が明らかになってきているのです。もちろん一人一人の状態に合わせてトレーニングを進めるには、方法論だけではなく医師の客観的な見立てと療法士個人の技量は欠かせません。

当院では、治療を受けられる皆様の「あともう一歩」を、より効果が出やすい方法と専門医による診断、療法士の技量を合わせてひたすらに追求しています。

(* 回復期病棟での取り組みは当院ホームページで紹介しています)



『がんの療養生活。体づくりを支えます。』

がんの療養生活では、治療の過程で体力が大きく低下しがちです。近年では、がんの分野にもリハビリテーションの概念が浸透するようになってきました。体を動かす、外科手術等による運動制限をしっかりと管理することにより、5年後10年後の運動能力に大きな差がでることが明らかになってきたのです。

当院では血液疾患センター、乳腺疾患センター、消化器疾患センターで治療を受けられる方々に、それぞれの分野で経験豊富なリハビリスタッフが質の高いリハビリテーションを提供しています。また乳がん、婦人科系のがん、前立腺がん等の治療に伴う手脚のリンパ浮腫症状に対しても、リハビリテーション科医を含めた経験豊富なスタッフが治療に当たります。これらのがんに対する取り組みは、県内外のメディカルスタッフが研修に訪れるほどです。



第84回地域けんこう講座のご報告

4月25日(土)14時より、オーチャードホールにて開催しました。今回は、「女性に多い病気 “乳がん”について知ろう!」と題して、乳腺疾患センター 安田満彦医師が講演を行いました。最近の乳癌の傾向や乳癌検診について分かりやすくお話し頂きました。乳癌になるリスクが、12人に1人の割合というのには驚きでした。皆様も、早期発見のために健診は必ず受けましょう。



新任医師をご紹介します

麻酔科



みやた あきまさ

宮田 章正 医師

4月1日からお世話になっている麻酔科医の宮田章正と申します。出身は横浜市ですが、弘前大学医学部を卒業後は麻酔科に入局し、当時関連病院だった福島労災病院をはじめ秋田赤十字病院、苫小牧市立病院などで研修しました。その後八戸市民病院で麻酔、ICUに関わり、14年前から八戸平和病院(121床の急性期病院)で泌尿器科、整形外科、消化器外科の麻酔管理に従事してきました。このたび佐藤欣也先生と親しくさせていただいていたご縁で、北福島医療センターで働かせていただくことになりました。手術を受けられる患者様に安心して安全な周術期を過ごしていただけるよう努力してまいりますので何卒宜しくお願いいたします。

学生時代は野球部でしたが、今はもっぱらゴルフに熱中しています。どなたかお誘いください。いつの日かスコットランドをクラブ片手に旅することを夢見ています。

血液内科



はらだ かよ

原田 佳代 医師

平成27年4月1日より血液内科でお世話になっている原田佳代と申します。私はいったん社会人を経験した後、福島医大に入学し、平成19年に卒業。2年間の初期研修の後、医大循環器・血液内科学講座に入局しました。後期研修医として血液内科専門医を取得し、大学院をこの春修了しております。その際共同研究者としてお世話になったのが木村院長始め血液内科の先生方で、お忙しい業務の合間に貴重な症例の検体をいただき本当に感謝しております。まだまだ未熟ではございますが、更に臨床の現場で研鑽を積ませていただき微力ながら地域医療にお役に立つことが出来たら光栄に思います。どうぞよろしくご指導の程お願い申し上げます。これからの季節、病院周辺は私の大好きな桃の花で埋め尽くされることと思います。美しい景色を堪能しながら毎日精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

消化器科



あしざわ まい

芦澤 舞 医師

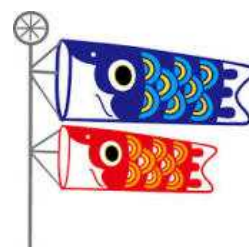
平成27年4月より着任いたしました、芦澤舞です。生まれは会津の湯川という、田畑広がるのどかな村です。会津の小中高を経て、福島県立医科大学を卒業後、竹田総合病院で初期研修をおこないました。その後福島県立医科大学の器官制御外科に入局しました。郡山市の病院で外科的な修練をつみ、今に至ります。こちらの病院周囲は私の故郷を思い出す、自然豊かですこしゆったりとした雰囲気を感じることができます。また開放的な病院施設と明るく和やかな職員さんたちという、素晴らしい環境のなかで働くことができ、とても光栄です。外科領域では、女性はまだまだ少なく、体力面などのことで心配を頂くこともよくあるのですが、患者さんはじめ周りの皆様から刺激や教訓を頂いて、自分自身日々精進できることや、手術での緊張感など、毎日充実感を抱いております。まだ若輩ではありますが、自分のこれまでの経験を十分に生かし、また努力することを忘れずに、皆様のお役にたてればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

6月27日(土)10:30より京都大学合唱団同窓会『三コンサート』をオーチャートホールで開催します。入院患者様とご家族、そして地域の皆さんへ歌のプレゼントです。お気軽にご参加ください。

<保原中央クリニックでは>

5月13日(水)看護の日のイベントを開催します



栄養科では患者様のために様々なイベントを開催しています

4月13日料理教室を開催しました

ひかり病棟の入院患者様を対象にパントリーにて「白玉団子作り」を行いました。作り方はとても簡単で、白玉粉に水を加えてこね合せ、最後に沸騰したお湯に入れば完成です。皆さん、とても上手に白玉団子を作ることができました。

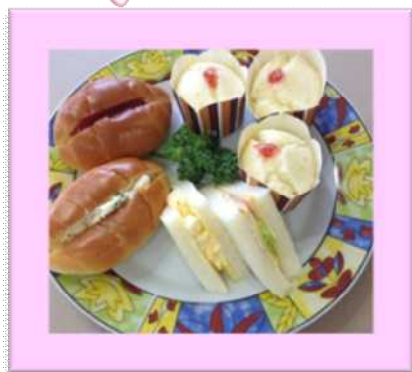


「昔は、よく作ったんだよ。上手でしょう！」



おいしい白玉団子の完成！！
今回は、“あんこ”と“きなこ”でいただきました

北福～春のパン祭り～



4月27日『北福島医療センター春のパン祭り』を開催しました。ひかり病棟ではワゴンサービスを行い、サンドイッチ・ホットドック・蒸しパンの中から好きなパンを選んで頂きました。

スタッフと談笑しながらパンを選んでいる患者様もあり、いつもとは違う楽しい昼食になったのではないのでしょうか。



経営理念

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、
お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

ブランドメッセージ

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、
お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。
医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、
「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。
私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、
すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenkai.or.jp
URL http://www.jinsenkai.or.jp